

科目名			担当者	
視能矯正学特論			二本柳 淳子 原口 翔太	常勤 非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	大学併修等
3年次・後期	講義	45時間	必修 3単位	

授業の目的と到達目標	<p>国家試験に合格するための知識の集大成を図る</p> <p>視能矯正学に必要な基礎知識を確認し、臨床でそれを発展させられるよう、理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚生理学、生理光学の基礎が理解できる ・両眼視機能と眼球運動が理解でき、その検査方法と検査データの見方がわかる ・屈折、調節に関する計算ができる <p>※視能訓練士の実務経験を持つ教員が、資格取得に向けた視能矯正学の講義を行う</p>
授業の概要達成課題	<p>視覚生理学、生理光学の基礎を問題を解きながら解説、理解を深め定着させる。</p> <p>また、両眼視機能と眼球運動についても症例を通して検査の実際・データの見方について解説していく。国家試験と臨床実習をうまくリンクさせ、理解を深め国家試験合格を図る</p>
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第1週	外眼筋の作用と眼球運動
第2週	両眼視の定義・成立条件と立体視
第3週	視覚生理学における光学・色覚・形態覚の基礎
第4週	〃 視野・両眼視・眼球運動
第5週	生理光学の基礎 光の性質・レンズ・プリズム
第6週	眼球光学
第7週	屈折・調節の異常と疾患
第8週	〃 検査法
第9週	〃 矯正（眼鏡・コンタクトレンズ・手術等）
第10週	主要眼疾患の基礎的知識とその治療（各部位ごとに）
第11週	〃 （斜視・弱視・眼球運動）
第12週	〃 （全身疾患と眼・心因性視覚障害）
第13週	神経眼的疾患とその検査
第14週	ロービジョンケアと失明予防
第15週	総合問題と解説
成績評価方法	定期試験 100%
教科書	<p>視能学 第3版：丸尾敏夫 他、文光堂、2022</p> <p>視能矯正学 第3版：丸尾敏夫 他、金原出版、2012</p> <p>屈折異常とその矯正 改訂第6版：所 敬 他、金原出版 2014</p>
参考書	授業の中で適宜指示
備考	

科目名			担当者	
視能検査学特論			三浦 歌奈子 庄司 正和 他	常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
3年次・後期	講義	60時間	必修 4単位	有

授業の目的と到達目標	<p>国家試験に合格するための知識の集大成を図る 視能訓練士になるために必要な検査学を総合的に深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の検査の内容と方法が説明できる ・一般的眼科検査の基礎から応用までを理論的に理解し、問題が解ける ・国家試験合格レベルまで達することができる <p>※視能訓練士として臨床経験を持つ教員が、資格取得に向けた検査学について講義する。</p>
授業の概要達成課題	<p>今まで学んだ検査学の知識をまとめながら深めていく。それぞれの検査や疾患との関連を意識させる講義を行い、国家試験で求められる実力を養成する。教科者を使い、より専門的な文章の読み書きに慣れさせ、理論的思考を促す。</p>
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第1週	医療面接の方法と診療録
第2週	医の倫理とインフォームドコンセント
第3週	視力検査と屈折検査（自覚的・他覚的）
第4週	レンズ
第5週	近見反応と調節・輻湊
第6週	視力検査と屈折検査 方法とデータの見方
第7週	〃 一般検査と特殊検査
第8週	視野検査と視覚路、色覚検査
第9週	視野検査（動的と静的検査）
第10週	前眼部・眼圧・隅角検査と関連疾患
第11週	眼底検査と画像診断
第12週	両眼視機能検査と眼位検査
第13週	眼球運動検査と臨床像
第14週	電気生理学的検査
第15週	眼薬理学
成績評価方法	定期試験 100%
教科書	<p>視能学 第3版：丸尾敏夫 他、文光堂、2022 視能矯正学 第3版：丸尾敏夫 他、金原出版、2012 屈折異常とその矯正 改訂第6版：所 敬 他、金原出版 2014 眼科検査ガイド 第3版：根木 昭、文光堂、2022</p>
参考書	授業の中で適宜指示
備考	

科目名			担当者	
視能訓練学特論			佐藤 かおり 大場 貴之 他	常勤 非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
3年次・後期	講義	60時間	必修 4単位	有

授業の目的と到達目標	<p>国家試験に合格するための知識の集大成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱視斜視分野の基礎から臨床的応用までを理解する ・重要な点を総合的な問題を解く力をつけるための講義で再確認し、定着させる ・問題解決で合格ラインに到達する <p>※視能訓練士として臨床経験を持つ教員が、資格取得に向けた訓練学について講義する。</p>
授業の概要達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・弱視斜視の成因、種類についての講義と基礎問題の解説 ・弱視斜視の診断、治療、両眼視訓練の講義と基礎問題の解説 ・弱視斜視の臨床症例の診断から治癒までの総合的な講義と応用問題の解説
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第1週	小児の視力発達、弱視の定義、原因、病態、弱視の種類
第2週	弱視の検査（屈折検査、眼位検査、固視検査）
第3週	弱視の治療（プレオプティクス、屈折矯正、遮閉法）
第4週	弱視の治療（ペナリゼーション、その他の訓練法）
第5週	斜視総論（共同性・非共同性斜視、偽斜視、斜視の種類）
第6週	斜視の検査（眼位、眼位検査）
第7週	AC/A比、AC/A比検査
第8週	両眼視機能
第9週	両眼視検査（立体視、立体視検査）
第10週	両眼視検査（網膜対応、網膜対応検査）
第11週	大型弱視鏡検査
第12週	融像検査（プリズム融像幅、4∠BOT）
第13週	総合問題・解説
第14週	〃
第15週	〃
成績評価方法	定期試験 100%
教科書	視能学 第3版：丸尾敏夫 他、文光堂、2022 視能矯正学 第3版：丸尾敏夫 他、金原出版、2012
参考書	視能学エキスパート 視能訓練学 若山暁美 他 医学書院 2018 他
備考	

科目名			担当者	
視能臨床実習 I			二本柳 淳子 他	常勤・非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
3年次・前期	講義	315時間	必修 7単位	有

授業の目的と到達目標	<p>学内実習で習得した検査及び視能矯正を実習施設（臨床現場）で学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視能訓練士として基本的な態度を習得し、専門職としての資質の向上と充実を図る。 ・学校で学んだ知識・検査技術の臨床での確認と向上を図る。 ・患者の心理を理解し、その接し方を習得する。 ・検査結果を読み取り、疾患に対する総合的理解を深める。 ・他の医療関係職を理解し、医療チームの一員としての役割と責任を学び、コミュニケーション力を身に付ける。 <p>※5年以上の臨床経験を持つ教員が、実習指導を行う</p>
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の実習で学んだ内容を日誌にまとめ、実習内容の再確認や補完、疑問点の解決を図る。 ・患者の訴えから検査・診断・治療を通して、眼科診療の実際を知り、疾患を理解する。 ・患者1人1人に合わせた対応、工夫を学び、検査・訓練の技術を身につける。
<p>【各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>2025/6/2 ～2025/7/26 の間の 315 時間 (各実習施設の計画による)</p>	
成績評価方法	実習評価表の判定基準に基づく
教科書	
参考書	<p>視能学 第3版：丸尾敏夫 他、文光堂、2022</p> <p>視能矯正学 第3版：丸尾敏夫 他、金原出版、2012</p> <p>視能検査ガイド 第2版：根本 昭、文光堂、2016</p> <p>屈折異常とその矯正 改訂第6版：所 敬 他、金原出版 2014 等</p>
備考	

科目名			担当者	
視能臨床実習Ⅱ			二本柳 淳子 他	常勤・非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
3年次・前期	講義	315時間	必修 7単位	有

授業の目的 と 到達目標	<p>視能臨床実習Ⅰを踏まえた、よりレベルの高い検査及び視能矯正を実習施設で学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視能訓練士として基本的な態度を習得し、専門職としての資質の向上と充実を図る。 ・学校と前期実習で学んだ知識・検査技術をもとに臨床での実施の具体的方法を習得する。 ・患者の心理を理解し、その接し方を習得する。 ・疾患に対する総合的理解を深め、症例検討できる力を養う。 ・他の医療関係職との相互理解、臨床現場での連携の実践を学ぶ。 <p>※視能訓練士として5年以上の臨床経験を持つ教員が、実習指導を行う</p>
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の実習で学んだ内容を日誌にまとめ、実習内容の再確認や補完、疑問点の解決を図る。 ・患者の訴えから検査・診断・治療を通して、眼科診療の実際を知り、疾患を理解する。 ・患者1人1人に合わせた対応、工夫を学び、検査・訓練の技術を身につける。 ・臨床で得た課題や学んだことから視能訓練士としての自分の将来像を考える。
<p>【各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>2025/8/1～2025/9/27の間の315時間 (各実習施設の計画による)</p>	
成績評価方法	実習評価表の判定基準に基づく
教科書	
参考書	<p>視能学 第3版：丸尾敏夫 他、文光堂、2022</p> <p>視能矯正学 第3版：丸尾敏夫 他、金原出版、2012</p> <p>視能検査ガイド 第2版：根本 昭、文光堂、2016</p> <p>屈折異常とその矯正 改訂第6版：所 敬 他、金原出版 2014 等</p>
備考	

科目名			担当者	
臨床実習セミナー			二本柳淳子・佐藤かおり 佐藤美智也・相澤洋子 他	常 勤 非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
3 年次・通年	講義	30 時間	必修 2 単位	有

授業の目的 と 到達目標	<p>視能臨床実習 I・II に当たり、眼科検査に必要な知識と技術の総復習をするとともに、他業種との連携や患者接遇力を向上させる。また最新の知見、技術、機器に触れる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床実習の現場で必要となる知識、技術と研究方法を理解し身に着ける。 体の不自由な方への介助・誘導、検査の工夫ができる。 医療機器の扱い、メンテナンス方法がわかる。 <p>※医療現場での実務経験のある視能訓練士、看護師、医療機器修理責任技術者などが実践的指導を行う。</p>
授業の概要 達成課題	<p>まず、臨床実習での目標・課題をまとめる。実習に当たり、不足している知識、学んでおきたいことを多面的に考え、準備する。通常の授業では学べない、身体に障害のある方への介助法、清潔不潔について、医療機器のメンテナンス等それぞれのエキスパートからその実践的なノウハウについて学ぶ。</p> <p>視能臨床実習 I・II における症例報告の研究法、考え方、実習後のまとめまでを継続的に学び、発表会を行なうことで、学習内容を共有する。</p>
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
<p>第 1 週 見学実習の報告・内容について検討</p> <p>第 2 週 臨床でみられる症例</p> <p>第 3 週 臨床で注意すべき症</p> <p>第 4 週 例</p> <p>第 5 週 症例データのまとめ方</p> <p>第 6 週 症例報告の書き方</p> <p>第 7 週 実習日誌の書き方</p> <p>第 8 週 医療機器の取り扱いとメンテナンス</p> <p>第 9 週 体の不自由な方の検査①</p> <p>第 10 週 " ②</p> <p>第 11 週 病院における清潔、不潔</p> <p>第 12 週 臨床での事例検討</p> <p>第 13 週 症例報告作成</p> <p>第 14 週 症例報告作成</p> <p>第 15 週 症例報告発表</p> <p>症例報告発表・実習のまとめ</p>	
成績評価方法	見学実習報告・症例報告発表等で評価
教科書	視能学 第 3 版/小林義治・松岡久美子・臼井千恵 他/文光堂/2022 現代の眼科学 所敬/金原出版 眼科検査ガイド第 3 版/文光堂
参考書	視能矯正マニュアル 丸尾敏夫/メディカル葵出版 エッセンシャル眼科学 丸尾敏夫/医歯薬出版 視能検査学/医学書院 視能訓練学/医学書院
備考	

科目名			担当者	
実用国語			北舘 英里 二本柳 淳子	常 勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
3年次・通年	演習	30 時間	必修 1 単位	無

授業の目的 と 到達目標	<p>病院実習や就職に備え、ビジネス常識やマナー・接遇、履歴書やお礼状の書き方、面接や職場での言葉遣いなどを学び、社会人としての知識や教養を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的なマナーを理解し、場面に応じて振る舞うことができる ・ 履歴書やお礼状を書くことができる ・ 面接時に適切な立ち振る舞いや、言葉遣いをすることができる
授業の概要 達成課題	<p>一般常識として必要な漢字の読み書きや文章を書く演習を行う。 電話のかけ方や面接の練習、就職試験対策等を実習や就職の時期に合わせて、適宜行う。</p>
<p>【各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>第 1 週 マナー・敬語・電話のかけ方、 第 2 週 自己分析と自己紹介票（実習に向けて）、 第 3 週 〃 第 4 週 職業観を文章にまとめる・作文 第 5 週 履歴書の書き方 第 6 週 報告連絡相談とお礼状の書き方 第 7 週 お礼状の書き方 2、履歴書 第 8 週 面接試験のポイント 第 9 週 身だしなみと立ち居振る舞い・面接練習 1 第 10 週 面接練習 2、作文・小論文の書き方 第 11 週 面接練習 3、一般常識問題 第 12 週 面接練習 4、適性検査問題 第 13 週 面接練習 5、適性検査問題 第 14 週 面接練習 6、適性検査問題 第 15 週 グループワーク、まとめ</p>	
成績評価方法	後期終了時にテストを行う（100%）。
教科書	なし
参考書	なし。プリントを配付する。
備考	